

令和7年度 島根県立大田高等学校 学校評価報告書

4段階評価：A－十分に達成できている状況 B－おおむね達成できている状況 C－どちらかといえば達成できていない状況 D－ほとんど達成できていない状況

評価の数値（％）＝総数における肯定的意見（4・3）の割合 *（0）わからないは除く [4:十分できている 3:大体できている 2:やや不十分である 1:不十分である 0:わからない]

教育目標	1 真理を探究し正義を愛する生徒を育成する	2 個性豊かで社会的資質に富んだ生徒を育成する	3 健康的で勤労意欲旺盛な生徒を育成する
------	-----------------------	-------------------------	----------------------

観点	学校評価項目	教職員評価	保護者評価	生徒評価	自己評価		学校関係者評価	
					評価	概評と改善策	評価	提言
主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善を図る	IT教育(プログラミング学習やIT講演会)を通じてITへの理解や興味を深まりましたか。	79	67	57	B	<ul style="list-style-type: none"> ICT講演会以外にもITパスポート受験セミナー、大成建設株式会社との連携事業(デジタルツインバス)を行い、ITへの関心を高めることに腐心したが、生徒・保護者へのアピールが足りなかった。次年度は全校生徒を対象とした企画が実施できないか検討をしたい。 協調学習を通じて生徒が他者の考えに触れ、自らの思考を深める実践が校内で定着してきた。今後は教科横断的な学びにつながる取り組みを提案し、更なる質的向上を図りたい。 プロジェクターの活用が日常的になり2年続けて教員評価が100となった。一部で接続トラブルなどが起きようになったので業者による定期的なメンテナンスができることよい。生徒評価が若干下がっているが、より生徒の実態に即したICT機器の活用をすすめていく必要がある。 各教科で個別添削などにしっかり対応していただいているが、来年度以降は働き方改革がさらに進むこともあり、授業時間外の負担を減らす必要がある。そのため、今まで以上に生徒自身の「学びたい」という気持ちや「学ぼう」という気持ちを高める教材や授業づくり、課題や小テストの工夫、などが求められている。 公開授業や授業研究の機会を積極的に活用して、主体的・対話的で深い学びへの授業改善をすすめている先生方もたくさんいらっしゃる。一方で、多忙感もありなかなか公開授業に参加できない方々もいらっしゃる。参加しやすい公開授業や研究授業のあり方なども検討し、さらなる授業改善につなげていきたい。 課題設定・解決スキルの重要性について教職員間の共通認識はあるものの、教育開発部からの具体的な実践方法の共有やフォローが十分ではなかった。次年度は職員研修を実施するなど先生方の授業改善につながる支援を積極的に行いたい。 生徒が入りやすく明るい雰囲気、レイアウトや飾りに工夫を凝らした魅力的な図書館を目指しており、好評である。生徒のニーズを考えた最新の蔵書が揃う他、様々な社会問題に対する調べ学習にも対応している。 本離れが進行する中で、朝読書や図書館だより、出張図書館などを行い、読書の魅力を発信していきたい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> アンケート過年度比較の「本校のグランドデザインがどのようなものかを知っていますか。」「本校は、IT講演会等を通じて、生徒の、ITへの理解や興味を深めていますか。」「本校の図書館は、生徒にとって利用しやすいですか。」の数値が低いことが気になる。例えば、グランドデザインの理解を促す方法として、総探のループリック評価の指標として示すと、生徒たちの意識に残りやすいものになる。 グランドデザインをはじめ、学校から提示されるものは説明が多いことで理解しづらくなっている。人はパッと目に入ったものに興味を惹かれやすいことを念頭に置いて改善を図ってほしい。 「総合的に見て、本校に入学して良かったですか。」という数値に注目している。3年生の進路決定時期に、どれだけ教員が本気で関わることが大事だと考えている。是非、3年生の数値に注目して欲しい。 土曜日の補習に関して評価が分かれている。公教育の役割としても難しい時期にあると思われるが、どういった課題があるのか先生方の考えを聞き検討して欲しい。 アンケートの数値を見ると良い学校だと思う。 先生方が子供達にどういった学習効果があるのかを理解して指導していただきたい。 学校を取り巻く環境も変わっていくので、柔軟に環境を変えていく必要がある。
	協調学習(ジグソー法やペアワーク、グループワークなど)を通じて深い学びをすることができましたか。	84	79	79				
	本校は、教室にあるICT機器(プロジェクター、タブレットなど)が活用されていますか。	100	90	90				
	本校は、生徒自身の「学びたい」という気持ちや「学ぼう」という気持ちに応えていますか。	86	85	77				
	公開授業や研修を通じて、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善が図られていますか。	85						
	生徒が宿題・課題等に取り組むことは、学習習慣の確立や基礎学力の向上につながっていますか。	74	87	82				
	生徒を取り巻く様々な場面での学習で、課題設定・解決スキルを育てることを意識しましたか。	74						
	本校の図書館は、生徒にとって利用しやすいですか。	89		77				
	本校の図書館の蔵書構成(生徒が読みたいような本、調べ学習に役立つ本等)は充実していますか。	91		80				
「図書館だより」などの広報誌の配布、出張図書館や展示の掲示は、生徒の読書活動につながっていると感じますか。	75		65					
地域・家庭とともに成長する学校をめざす	地域に係る活動(地域体験活動や地域探究学習など)を通じて地域への理解や愛着が深まりましたか。	94	78	66	B	<ul style="list-style-type: none"> 従来の活動に加え、新規事業『OHDAまるごと学びのフィールドプログラム』を行うことで、生徒が地域の方々と関わりながら学ぶ機会を1年生にも拡げることができた。今後は地域・まちセンとの連携を更に深化させ、学習内容と結び付いた継続的な取り組みとして発展させていきたい。 身だしなみが学校生活や社会生活の基盤であることを、生徒に丁寧に伝えるときに、継続的な指導と共通理解を図っていききたい。 部活動の成果が出た一年であったと感じるが、部活動への参加意欲や活動量は、各部活動や生徒、保護者、そして顧問を含めて差が大きい。より多くの人が、充実した部活動の意義を実感できるよう、指導体制や活動内容の工夫を図っていききたい。 有益と思われるボランティアの活動に関しては、今後も周知を行っていききたい。 情報の受け取り手である保護者からは概ね良い評価をいただいた。来年度以降も進路講演会等で情報を発信していきたい。 1年生は文理選択、3年生は受験に向けての学年集会があったが、2年生はコース選択説明会も文系クラスのみ集会であり、学年全体で進路情報を聞いた印象が弱かったのかもしれない。 今年度1年生は文理選択の適性診断を行った。2年生もHRを利用して適性診断を行い、学校調べ等の時間があったが、評価は低くなっている。 教職員と生徒は高評価の割合が下がり、保護者は微増している。保護者や受験が差し迫った3年生は補習の効果を感じる一方で、教員、生徒の多忙感もある。より良い実施形態を模索したい。 肯定的な解答は微増。総会では比較的活発な議論がなされており、参加する意義が生じていると思われる。授業公開日については、参観者の人数は毎回1～3名と振るわず、その内容や時期、年2回であることの是非などについて再検討の余地がある。 掲載内容に古いものがあったり、更新の即時性が課題として明らかになった。次年度は、定期的な点検を行うとともに、迅速な更新を可能とする体制づくりに取り組むことによって、ホームページの信頼性向上を図りたい。「泰山木」については、より多彩な紙面となるよう、原稿執筆など各方面にも協力を仰ぎ、従来通り年2回の発行を心がけたい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 「総合的に見て、本校に入学して良かったですか。」という数値に注目している。3年生の進路決定時期に、どれだけ教員が本気で関わることが大事だと考えている。是非、3年生の数値に注目して欲しい。 土曜日の補習に関して評価が分かれている。公教育の役割としても難しい時期にあると思われるが、どういった課題があるのか先生方の考えを聞き検討して欲しい。 アンケートの数値を見ると良い学校だと思う。 先生方が子供達にどういった学習効果があるのかを理解して指導していただきたい。 学校を取り巻く環境も変わっていくので、柔軟に環境を変えていく必要がある。
	服装・頭髪等、本校の生活指導はきちんと指導がされていますか。	79	91	83				
	部活動の内容は、生徒、保護者にとって満足できるものですか。	71	75	77				
	本校は、生徒のボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	62	64	70				
	本校は、保護者進路説明会等を通じて、保護者に進路に関する情報を伝えていますか。	91	90					
	本校は、進路講演会や学年集会等を通じて、生徒に進路に関する情報を伝えていますか。	91		82				
	本校のキャリア教育は、生徒に自分の生き方について考えるものになっていますか。	91	80	83				
	各種の補習(土曜日・平日・夏期・冬期)は学力向上に効果がありますか。	63	82	71				
	PTA総会、授業公開日など保護者対象の行事は、適切に行われていますか。		70					
本校は、「泰山木」・大田高ホームページを通じて学校の様子を伝えていますか。	81	75	43					
自他の生命や人権を大切に育てる生徒の育成をめざす	本校は、いじめ防止基本方針に基づいた取り組みが、実施されていますか。	94	75	76	B	<ul style="list-style-type: none"> 本年度認知したいじめについて、防止対策委員会や学年部・担任と連携して、組織として対応ができた。学級活動や全校集会等を通じて、いじめを許さない意識の醸成に努めていきたい。 1年生のLHR活動などで、互いを尊重しながら、自らの意見を発信できるよう、支援している。 比較的高い評価をいただいている。防災や緊急メールとしては十分に機能しているといえる。今後も積極的に開いていただき、十分な活用をしていただきたい。 生徒による掃除点検や大掃除前の重点ポイントの連絡を試みた。普段の清掃でできない部分をアシスタントの方々に細やかにしていただいたまた業者によってトイレ、窓清掃が実施され、衛生的によい環境を整えることができた。 担任、学年部、インクルーシブの先生方や保護者と連携をとり早期対応そして支援を粘り強く継続することに努めた。医療機関、SC、SSWをはじめとする専門家のアドバイスをもとに対応した。 3年の人権講演会、各学年のLHR活動だけでなく、先生方にもインクルーシブ教育やこどもの権利などの研修を実施した。 日頃から生徒に温かく接し、困ったときに相談できる存在になれるように努めていきたい。 今後はもう少し生徒とコミュニケーションを取るよう心がけたい。 担任の面談時間が増えたことに加えて、受験に向けて多くの先生方にお声がけいただいたことが高評価につながったのではないかと。保護者については、昨年度よりややポイントが下がる形となった。保護者に対しての情報提供や共有の機会を、今一度見直すことも必要かと感じた。 定期的な面談や、気になる生徒への声かけを行い、生徒理解に努めてきた。今後も生徒とのコミュニケーションを大切に、教員同士で連携をとり、成長を見守っていききたい。 今後はもう少し生徒とコミュニケーションを取るよう心がけたい。 生徒への支援内容や学校の関わりが、保護者に伝わっていない状況も考えられるため、こまめな連絡と情報共有について今後は改善したい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 「総合的に見て、本校に入学して良かったですか。」
	本校は、自尊感情やコミュニケーション力を高める取り組みをしていますか。	82						
	本校は、生徒の安全確保(安全点検、避難訓練、防災教育、緊急連絡メールなど)を適切に行っていますか。	86	89	81				
	本校では、全校生徒と全職員によって環境衛生・美化意識の高揚(清掃活動の推進)が図られていますか。	85		92				
	本校では支援を必要とする生徒を早期に把握し、担任・保護者・関係者との連携を密にし他機関との連携を含めた早期対応が図られていますか。	91		75				
	生徒の健康管理・維持への対応や指導は適切ですか。		80	81				
	本校では、人権学習や講演会を通じて、人権意識を高める教育が行われていますか。	89	91	86				
	本校は相談しやすい学校ですか。	91	80	70				
	本校は生徒理解に努めていますか。	91	83	75				
総合的に見て、本校に入学して良かったですか。		95	74					